

CHECK!

神島屋
アカウント



神島屋 × JAわかやま紀南地域本部
コラボ企画



入賞レシピ
5点紹介

みんなの梅弁当 コンテスト2025



JAわかやま紀南地域本部と神島高校の「神島屋」コラボ企画として、SNSのInstagramを活用した「#みんなの梅弁当 2025」写真コンテストを6月6日から7月5日までの期間で開き、多数の応募がありました。見た目、梅の使用方法、オリジナリティの観点から高校生が審査した結果、優秀作品5点が決定しましたのでご紹介します。



最優秀賞

梅干しミャクミャク弁当
mayomayobakaumaさん



優秀賞

梅の照り焼き
弁当
shibaonloveさん



JAわかやま
賞

パンダ梅弁当
pu_cookingさん



神島屋賞

パンダ
かまぼこ
弁当

sakura390blossomさん



優良賞

チューリップ弁当
muscattomomoさん

例えば、平成15年に旧JA紀南が合併した際も、当初は地域環境や職場風土の異なるJA同士と一緒に、合併当初は融合ではなく合体といった感じであったと思います。長い年月をかけて人事交流が進み、職員間あるいは組合員もひとつになっていったような気がします。私も合併2年後には自身の出身JA管内を離れ他の地域に異動となりましたが、当初は戸惑いながらも地域の方々や同僚

合併後の姿を想う



紀南地域本部
副本部長
木下 道禎

わたしのおもい

が生産基盤の弱体化が謳われる昨今ですが、管内農業の維持を第一義に取り組み、本店に対しては様々な提言をするなど、議論ができる地域本部でありたいと思います。組合員とともに歩む組合を目指して頑張っていますので、地域本部運営に関しましては格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

JAわかやまが誕生して4カ月が経過しました。私自身、旧JA紀南の解散と時を同じくして定年退職となりましたが、新JA発定に合わせ、再びJA運動を担う一員として、総務管理担当の副本部長の職を拝命いたしました。

が温かく迎え入れてくれ、赴任地域で頑張れる活力になったように思います。新JAでは、当初5年間は地域本部間の異動はなく、本店のみの異動となりますが、職員は勿論のこと、組合員同士も地域本部間の垣根を超えて交流が進んでいけば、真の意味での合併効果が表れてくるものと思います。

ともあれ、合併により全国有数規模のJAとなり、合併に寄せる組合員の期待はかなり大きなものだと思っております。まずは、地域本部が今までどおり組合員結集のもと安定した経営基盤を築きつつ、他の地域の良さを取り入れながら合併効果を受け受けていきたいと思っております。

すもも、うめ等の生産者や関係者の皆さまへ



クビアカツヤカミキリ対策 研修会

もも、すもも、うめ、さくらを食害するクビアカツヤカミキリの被害が広がっており、県内16市町（R7年7月10日現在）で被害が確認されています。被害の拡大防止には、早期の発見と防除対策が重要です。

この研修会では、被害の実態や防除対策を紹介いたします。大切な果樹をクビアカツヤカミキリから守るため、どうぞご参加ください。



田辺会場 参加費無料

2025年
日時 8月29日(金) 13:30~15:00 (受付13:00)
場所 JAわかやま中央営農経済センター 2階 大会議室 (田辺市秋津町752-1)
内容 ● 県内の被害状況と試験研究の取組、防除対策について
 ● 県内紀北地域における被害と対策の状況について

●参加申込方法

氏名・所属または職業・お住まいの市町村名を記載のうえ、以下のいずれかの方法で事前にお申し込みください。

申込先① 和歌山県 鳥獣害対策課
 メール: e0720001@pref.wakayama.lg.jp
 FAX: 073-428-3072
 WEB: <https://logoform.jp/form/AWEVN/1134248>



申込先② JAわかやま紀南地域本部
 各営農経済センター・支店営農経済まで

申込期限▶ 開催日まで
 ※空席があれば当日飛び込み参加も可能ですが、事前の参加登録にご協力ください。

お問合せ先▶ 西牟婁振興局 農業水産振興課
 ☎0739-26-7941
和歌山県庁 鳥獣害対策課
 ☎073-441-2905

クアハウス白浜

紀州地域本部と合同開催
JAウオーク

日時 10月5日(日)
場所 クアハウス白浜 集合 7:30出発
対象 組合員・組合員家族

申込期間 9月19日(金)まで
 定員 25名 (紀州・紀南で各12名)
 参加費 2,500円(弁当付き)
 集合時間 午前7:15
 開催場所 休暇村 紀州加太

お申込みお問合せ **クアハウス白浜** ☎0739-42-4175

1190世帯が来場

総合選果場で「夏の大感謝祭」



各メーカーが扱う農機具等の展示に興味を示す来場者

各メーカーが取り扱う農機具などをずらりと揃え、2日間で1190世帯が来場しました。場内には農機具をはじめ空調服や農業用ドローン、女性用農業衣類など多種多様な展示が並び、メーカー

JAわかやま紀南地域本部は7月18日・19日の両日、田辺市下三栖の総合選果場

で合併後初となる、総合展示会「夏の大感謝祭」を開きました。

「ウメエ梅弁当」

450食を販売

神島高校「神島屋」

県立神島高等学校の商品開発チーム「神島屋」は7月5日、JAわかやま紀南地域本部の直売所「紀菜柑」

担当ことやJA職員の説明に熱心に耳を傾ける人の姿が多数見られました。またこのほか、わなげ&ミニゴルフといった催しや、県警による交通安全教室、キッチンカーフェスタなど大いに賑わいました。

で、地元飲食店が手がけた梅入り弁当450食を販売しました。企画名は「ウメエ梅弁当販売」。飲食店に梅を使った弁当の開発を神島屋が依頼し、生徒自身が販売する取り組みで、今回は15店舗が参加しました。各所へのチラシ掲示やSNS等で積極的な情報発信を行ったところ、販売開始前から列ができる好評ぶり、購入者からは「娘に教えてもらって買いにきました。食べるのが楽しみです」といった声が聞かれました。また今年には新たに、弁当

の購入者を対象に「梅UM Eピンボール」も実施。生徒が考案したゲームを楽しんだ参加者からは笑顔も見られました。



開店前から列ができた「ウメエ梅弁当販売」



ミカン

◆仕上げ摘果

9月から収穫が始まる極早生ミカンは、樹上選果でS〜Lの果実に仕上げる。極小果・極大果・日焼け果などを摘果する。

早生ミカンの着果は、園や木によりバラツキが大きく、着果の多い木では、内側(フトコロ)や下部(スソ)部分の極小果を中心に、極大果・傷果・日焼け果等を摘果する。着果が少ない木では秋芽が発生しにくくなる10月以降まで仕上げ摘果を遅らせる。最終的に葉20〜25枚に1果を目安とし、摘果を行う。

中晩柑類の仕上げ摘果は、腰高果・傷果・小玉果・日焼け果等を取り除き、大玉果生産に取り組む。

◆浮き皮軽減対策

果実は着色期になると果肉の生長はほとんど停止するが、果皮は生長可能な状態にある。この時期に高温・多湿条件に遭遇すると浮き皮を助長するため、収穫の遅い早生の完着・木熟みかんでは注意が必要だ。

浮き皮軽減対策として、水溶性カルシウムを散布し果皮の強化に努める。ジベレリン液剤とジヤスモメートの混用処理は、早生ミカンでは9月上旬までに処理することが望ましい。ジベレリン処理は浮き皮軽減効果が高いが、着色遅延ともなう可能性があるため、日陰園など遅場園地での使用は留意が必要である。年明け以降の収穫では着色遅延はほとんどなくなるが、使用の際は収穫時期等を考慮し、不明な点は営農経済指導担当までお問い合わせください。

◆病害虫防除

○褐色腐敗病

病原菌は疫病菌で土壌中に生存しており、成熟期に台風や集中豪雨等で多発することがある。発生が見られたら早急に薬剤を散布する。

○カメムシ

温州みかんへの加害が発生しやすい時期であるため注意が必要である。使用回数に注意し薬剤選択・散布をする。

○後期黒点病

8〜9月に降雨が多いと後期感染

病斑が多くなるため薬剤散布を行う。
○青かび・緑かび病

極早生・早生ミカンの早期出荷用は腐敗対策として防腐剤を必ず散布する。(ペフラン液剤は2025年10月に登録失効予定のため使用に注意する)。

◆極早生ミカンの秋肥

極早生ミカンは9月下旬から秋肥の施用時期となる。施肥量については、栽培暦を参考にする。

○中晩柑の秋肥

中晩柑の秋肥は果実肥大促進・樹勢の維持・冬季の耐寒力を高める効果等があるため、栽培暦を参考に遅れずに施用する。
(芳養谷支店営農経済・中本慶次)

梅

◆病害虫防除

○ウメシロカイガラムシ

年3回発生し、第3世代の幼虫発生期は8月下旬〜9月上旬頃となる。この時期の幼虫発生はダラダラ続くため、タイムミングを逃さないよう注意しよう。

○ケムシ類・モモヒメヨコバイ・アブラムシ類

夏から秋はケムシ・ヨコバイ・アブラムシ等が発生する時期であり、発生が見られる園では初期防除に努める。

◆元肥の施用

元肥は貯蔵養分の蓄積と翌年の花芽充実を目的に施用する。根の活性が良く、高い肥効が見込める10月上旬頃までに施用することが重要である。施肥量については、栽培暦を参考にする。
(中央営農経済センター・田中大介)

水稲

◆稲刈り

刈り取り時期は品種によって異なるが、穂の9割近くが黄色になった頃が適期となる。天候・栽培面積等を考慮して計画的に開始し、刈り遅れないよう注意する。

◆収穫後の管理

キシユウスズメノヒエ等が繁茂した園地では、耕起前にタツチダウンIQ等の除草剤を茎葉散布する。
(すさみ支店営農経済・前川実)

野菜

秋冬期の野菜類の播種・定植時期となる。また、台風が多い時期でもあるので圃場の準備は遅れないようにする。

◆土づくり

たい肥・石灰などの土壌改良資材

は、播種・定植の2週間前に施用し耕起しておく。

◆元肥

元肥は播種・定植の1週間前に施用し土壌となじませておく。

◆マルチ被覆

レタス栽培ではマルチ被覆は必須であるが、他の葉菜類でも雑草対策・保水対策、肥料の成分流亡対策としても効果的なため使用をお勧めする。

◆台風対策

事前対策として、排水路のつまり等の点検・補修を行い、冠水時の速やかな排水に備える。雨風に備えてべたがけ資材等で苗を被覆し被害軽減に努める。

台風通過後に冠水・浸水被害がみられる場合には、速やかな排水に努め、追肥や液肥の葉面散布等で生育の回復に努める。また、病害の発生も懸念されるため、適切な薬剤散布により防止する。薬剤については営農担当者に相談する。

◆害虫対策

ヨトウムシ類・コナガ類・アオムシによる被害に注意する。対策として、ブロッコリー・レタス・キャベツ・ハクサイにはジュリポフロアブル(200倍・育苗後半)定植当日・セル成型育苗トレイ1箱当たり0.

5リットル(1回)、またはベリマークSC(400倍・育苗後半)定植当日・セル成型育苗トレイ1箱当たり0.5リットル(1回)をかん注処理する。(すさみ支店営農経済・前川実)

花き

◆施設花き

9月は苗の定植時期となるが高温が続くため、定植前から遮光、散水等を行い、地温低下に努める。定植は日中を避け、夕方に涼しくなってから行う。定植の際には根が傷つかないように注意して取り扱い、深植えにならないようにする。遮光は約1週間とし、活着後は覆いを除去して日照を確保する。

定植後は十分にかん水を行い、活着、生育を促す。その後は品種、土壌条件等によつて異なるが、徒長や軟弱化に注意し、生育ステージに応じたかん水を行う。

◆露地花き

近年、高温乾燥が続くことが多いため、ハボタンやケイトウなどの露地花きも注意する。加えて、適度な水分を保つように管理し、台風による大雨に備えて排水路を確保する。

◆病害虫防除

定植直後は、特にヨトウムシ類に注意する。防除薬剤については、営

農経済指導担当者に相談する。薬剤散布の際には葉裏にも薬剤が掛かるよう丁寧にかぶる。また、薬剤防除だけに頼らず、防虫ネットの設置などの耕種的防除も併用する。

(富田川営農経済センター・石川貴康)

花木

◆病害虫防除

病害虫の発生には、引き続き注意が必要である。また、風通しを良くするため、適度に剪定・収穫を行う。病害虫は早期に摘み採るなど、病害虫が発生しにくい環境づくりに努める。特に注意する病害虫は次の通りである。薬剤については、営農経済指導担当者に相談する。

○グンバイムシ

グンバイムシは軍配の形をした羽が特長で、5〜9月頃まで葉裏に寄生して葉を吸汁する。被害を受ける葉の表面には白いカスリ状の傷が見られる。

○フシダニ

発生すると旧葉に濃緑色の斑点が



サツマイモ苗300本を
安宅小児童が定植

紀南地域本部すさみ支店は6月24日、安宅小学校の全校児童21人によるサツマイモ苗の植え付けをサポートしました。同校では毎年、全校児童参加によるサツマイモ作りを行っています。今回植え付けを行うにあたり、すさみ支店の営農指導担当者が植え方の指導など、お手伝いを行うことになりました。児童らは当日、すさみ支店の前川実営農指導担当に植え方を教わり、「紅はるか」の苗300本を植え付けました。今後は秋の収穫に向け、夏場の雑草取りなど管理を行っていきます。

モザイク状に見られる。
○すす病

発生すると葉や枝の表面が黒色の粉状のカビで覆われる。カイガラムシやグンバイムシ、アブラムシなどの植物を吸汁する害虫の分泌液・排泄物が発生原因となる場合が多く、それらを防除することで発生が軽減される。

○輪紋葉枯病

発生すると褐色で円形の病斑が葉に生じ、進行すると落葉する。降雨が続くと発生しやすく、密植で風通しが悪い条件の園で多発する。(富田川営農経済センター・石川貴康)

※みかん、中晩柑、梅、スモモ、水稲の防除薬剤や施肥肥料は、旧JA紀南令和7年栽培暦を必ずご確認ください。



第1期講座がスタート

6回のカリキュラム受講

女性大学「きらっと」

合併後、第1期目となる紀南地域本部の女性大学「きらっと」が7月4日に開校し、地域の女性12人が入学しました。合併以前からの取り組みで、これまでに延べ309人が受講しています。

第1期生は12月19日までの期間、料理や運動・手芸など毎月1回のカリキュラムを計6回受講します。受講生からは

「退職し時間ができたので、自分探しにつなげたい」「地元のことを知っているようで知らないの、知るきっかけになればと思う」といった声が聞かれました。

地域の女性12人で開校した第1期「きらっと」

開校式は紀南地域本部の中央営農経済センターで行い、大炭敦史本部長は『きらっと』で



出前授業を行う稲葉支店長

「退職し時間ができたので、自分探しにつなげたい」「地元のことを知っているようで知らないの、知るきっかけになればと思う」といった声が聞かれました。

支店長が周参見小で

稲作に関する出前授業を行いました。

同校の4年生16人を対象に行っている稲作体験の一環で、5月には一緒に田植えを実施。今回の出前授業では、その後の稲の生育状況や、9月に予定してい

は仲間づくりや感性向上を目的に、組合員や地域の女性に農業や食、健康などの学習機会を提供しています。この機会にぜひ学びを深めてください」とあいさつしました。

閉会後の第1回講座「梅レシピ料理」では、紀南地域本部の加工部が運用するインスタグラム「梅の魔法かんたん梅料理」で紹介されている梅料理を作りました。

令和6年度

優績者表彰

令和6年度、優秀な成績を収められたとして、紀南地域本部から次の職員が表彰されましたのでご紹介します。

共済

JA共済連和歌山
優績複合外務
県本部表彰

全国
優績部門

総合優績表彰

新人
複合外務
部門

新任優績表彰



申本支店
下崎 教史



鮎川支店
山本 たお

信用

検定試験
優績表彰

信用事業基礎検定



中央支店
坂本 龍哉

info

相続手続きに関する お願い

紀南地域本部・金融部

紀南地域本部では相続のお手続きに関して、令和7年6月より『予約制』を導入しております。支店へのご来店前に、お電話または窓口にてご予約ください。

『予約制』の導入で、より迅速、より堅確にご対応いたしますので、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

米作りについて、昔ながらの方法と現在の機械化された方法を比べ、省力化された現在の米作りには多くの費用がかかることも説明し、現在の米の価格が果たして高いのか、児童と一緒に考えました。

米作りについて、昔ながらの方法と現在の機械化された方法を比べ、省力化された現在の米作りには多くの費用がかかることも説明し、現在の米の価格が果たして高いのか、児童と一緒に考えました。

オンラインショップ



今月の
イチオシ

〈ご家庭用〉
完熟うす塩味 まるの梅
(500g×3パック)

ご注文は
こちら



酸っぱすぎず、梅の爽やかな風味が
感じられる1番人気の梅干しです。

ふれあい広場

ENJOY

セカンド
ライフ



白浜町

つだ はるみ
津多 晴美さん

今年の5月から女性会の新米役員に 第二の人生も楽しく元気に

退職を機に今年の5月、女性会白浜ブロックの監事に選任されました。加入歴こそ10年以上になりますが、在職中は活動にほとんど参加できていなかったこともあり、大役を任されたときは正直驚きました（笑）。

分からないことばかりで右往左往の日々ですが、この機会をポジティブに捉え、皆さんに教わりながら新米役員として楽しく頑張っていけたらと思います。

第二の人生、始まったばかり。かわいい孫たちの成長や女性会活動など、これからも楽しく元気に過ごしていきたいです。

すくすく
Memory

田辺市稲成町

まるやま きょうか
丸山 京香さん
だん
暖くん(11カ月)



いつもニコニコご機嫌さん♪ できることも増えてきたよ

人見知りせずニコニコと、いつもご機嫌な暖くん。得意のハイハイで、お家の中を活発に動き回っているよ。テレビから音楽が流れてくると、リズムに合わせて楽しそうに踊っているんだって。

好きなことは食べること。イチゴやトウモロコシなど、季節のものって本当においしいな。日に日にできることも増えてきて、今では少しだけど1人で立てるようになってきたし、「いただきます」「ごちそうさま」「バイバイ」といった仕草もできるようになったんだ！

ご家族から一言

元気で誰にでも優しく、名前のとおり「暖」かい心をもった子に育ってね。

生産者
紹介

今月の きなん産地人

田辺市中辺路町野中

ながい けん
長井 乾さん

妻と2人、シキミなどを栽培



シキミの栽培を始めて30~40年くらいになります。今では生産者数もわずかとなってきていますが、昔は生産が盛んで、私たちの地区でも本当に多くの方が栽培していました。

シキミは「熊野なかへち」ブランドとして出荷しています。シキミ栽培は手間も要しますし苦労も多いですが、今年の生育は順調で、お盆が終わると次は彼岸と忙しい日が続きますが、妻と2人頑張ります。

シキミのほかコウヤマキやサカキ、米、野菜なども栽培しています。今の楽しみは9人の孫たちの成長で、これからも家族みな元気に暮らしてくれればうれしいです。

地域本部の

JA職員です



田辺支店 融資担当

やまだ だいき
山田 大貴さん



ツーリングに今ハマっているので、いつかバイクで淡路島や琵琶湖一周をしてみたいです。

白浜支店 金融窓口

たうち ゆい
田内 友唯さん



映画を最近よく観ているので、いつか映画の舞台となった街を実際に訪れてみたいです。特に好きな作品は「花とアリ」です。